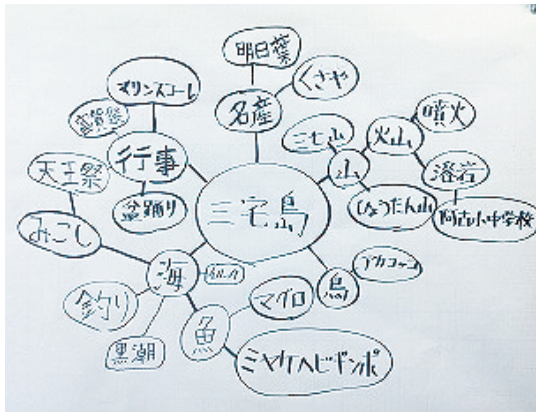


三宅小中学校 開校10周年 11月3日に記念式典



中学生による観光スポット教材の検討図

航空路の島民割引開始

調布から10,400円



新中央航空に乗る

三宅島間の航空路を国の交付金を活用して新中央航空株式会社の片道料金を通常より、島民を対象に約4割引とした。割引運賃は、片道で大人1万7千200円、子供1万2千円、障害者1万400円となる。なお往復割引はない。対象者は、三宅村、御

蔵島に住民登録をしている者で搭乗手続きの際、運転免許証等本人の住所が確認可能な書類を用意すること。インターネットでも「国境離島空路割引運賃(三宅島・御蔵島)」が追加される。問い合わせは新中央航空株式会社へ！
三宅島空港 04994-6-0006
調布空港 0422-31-4191

三宅村立三宅小学校、中学校が開校10周年を迎える。11月3日には、記念式典および午後には中学校で文化祭が行われ、島の次の世代を担う人材育成に欠かせない学校教育の重要性を再認識する機会となる。

三宅村立三宅小学校、三宅中学校は、開校10周年記念式典を平成29年11月3日(金)午前9時から午前10時15分まで三宅中学校体育館で行う。在校生はもとより、保護者、島民代表、行政関係者等も招待。「ふるさとネット」佐藤会長も招待され参加する。また、当日午後から中学校で文化祭が行われ多数の参加を呼びかけている。

族・子供達
帰島した家

火山ガスや生活の不安のなか、先生・行政・教育委員会等と共に力を合わせ成し得た10周年式典を喜ぶ。

中学文化祭も同日開催

開校10周年記念式典の午後からは、文化祭が行われる。

三宅中学校(大房裕司校長)「学校だより」によると学校公開日に「総

合的な学習の時間の発表会」で、1年生が島の郷土への理解を深め、島にある魅力がいかに知ってもらい、楽しんでもらうかそれぞれ知恵を絞って泊2日の観光プランを作った。このことは、中学校の教育目標「ふるさと」の発展に貢献する生徒の育成の一環として作成。企画を観光協会に提案したいと意欲的

である。

ふるさとネットにも、小・中学校だよりをお送りいただいているので、注目。中学校を訪ねてお話を伺いました。

火山の歴史、バードウォッチングツアー、島と流人等上がったが文化祭では絞り込みたいと担任の先生は述べていた。多感な生徒たちの提案に期待したい。

三宅島新報

発行所：三宅島ふるさと
再生ネットワーク

〒173-0005
東京都板橋区仲宿2-1
TEL 090-4922-0798
FAX 03-3964-4065
発行人：会長 佐藤就之

事務局便り

今回は、本当にうれしいお便りです。

「三宅島新報」は、5月1日と7月1日号で「ふるさと納税」と「ふるさと三宅 村民制度」を紹介した。

早速、ふるさとネットの「ホームページ」を通じ、村民制度加入のご通知を頂いた。

それは、横浜のK様から知人の方にも呼びかけた。

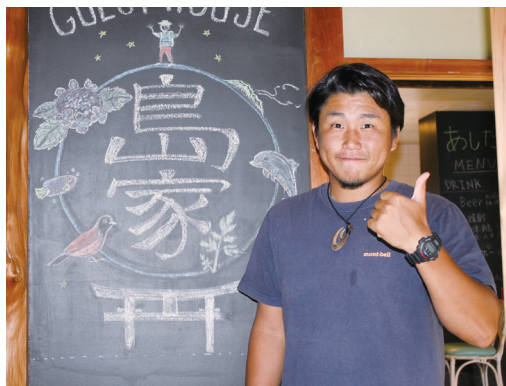
加入書類が届くのが遅く心配したが、書類が届き会費を払い込み感謝のメールを頂きました。心より感謝申し上げます。商工業の特産品が楽しみです。次号で写真で紹介します。

会長時評

島外出身の頑張る若者を紹介

新たな開拓者に支援を

ゲストハウス島家の玄関口で伊藤さん



“しまで生きる”伊藤さん手作りに共感!

詳しくは、〒100-1212 東京都三宅島三宅村阿古2117-1 ☎ 080-4477-1250 (オーナー 伊藤)

人口減少の中で

三宅島にも頼もしい新しい波が高まっている。かつて、日本の青年を虜にした「何でも見てやろう」で、日本はおろか世界中に飛び歩いた世代もあった。

伊藤さん島家を開設

三宅島ゲストハウス島家(しまや)を、この夏に開設した青年がいる。それは、昨年10月1日第63号4

面にも掲載された伊藤さん(写真)だ。八丈島出身で大島や父島など見て歩き三宅島の虜になった。神着地区に住み、阿古地区に旅館業の認可もと、青年男女の協働で作り上げた。事業の成功を心から祈念したい。

高齢化が進む三宅島の今後に重要なのが若い人たちの力だ。島で生まれた子どもたちが島外に出てしまう一方で、島外出身の若者が島に根を下ろして頑張るケースも見られるようになってきている。この面では、その中から二人を紹介する。このような新たな島の開拓者が更に増え、また定着して長く島で暮らし続けるように、私たちも官民一体となって支援していかなければならない。

東さん漁協の戦力に

もう一人が3面に寄稿してくれた青年東君だ。彼も旅人の一人だ。北海道の大学を卒業して、いくつかの地を歩いたのち三宅島にたどり着き、阿古地区に住み漁協に勤務している。

若者が少ないなか貴重な戦力となる。みんなを支え合い三宅での生活基盤を築き上げることを念じながら寄稿文をお願いした。特に、よく言われているのは、村おこし、町おこしは「よそ者、若者、馬鹿者」で馬鹿者は冒険者、挑戦者、勇気ある者と解釈できる。

今号は、二人の若者を紹介出来てうれしい限りだ。また、モイアー先生の教えを受け三宅島に根を下ろしたいと思っている人々も知っている。(村長さんや数ある観光課の

方々も懇談し、支えになつて、いただきたい願うものです。七島信金商工会、JA農協などに要望を「付度」していただければ!?」三宅島は、他には無い個性と魅力を持つて、島人では知ることができない特徴ではなかるうか。

島にきた人々は、三宅島は宝の島だとよく言われる。前号の佐久間氏の寄稿文で分かるように戦前・戦後の三宅島の酪農を主に営んだ生活は大変裕福なものであった。

彼らが三宅島の新たな開拓者として活躍することを希望したい。島の生活は、「なあ、なあ」で対人関係を済まして、観光立島で生きるためには、海の幸、山の幸、そして人に対しても一粒の米、猪口一杯の酒を頂いても「有難うございませう」の感謝の言葉を若者は失っている。心に力を込めて相手に「有難う」を伝えることを会得してもらいたいと切望している。共に笑顔のおらが島をつくるためにも(佐藤)

あずま

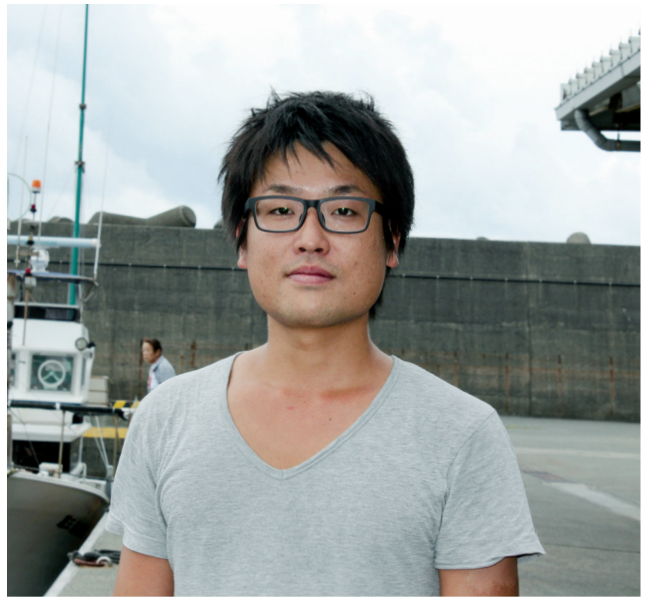
東さんに聞く定住後の暮らし

新しい生活にも慣れて

丸2年が経過して

三宅島での生活も丸2年が過ぎ、島での生活には随分と慣れることができました。東海汽船から初めて三宅島を見たときの印象は、海に浮かぶ森でした。その環境で驚い

2面で紹介した島外から訪れ三宅島に定住して働く若者の中から、三宅島漁業協同組合で働く東勝輝さんに、島での生活の状況などについて寄稿していただいた。東さんは、島の暮らしにもすっかり慣れたようで、「島の良さをもっと知りたい」と述べている。



次々入港する阿古漁港で働く東さん

たのは、実は自分が育った和歌山県と同緯度であり、南の島でもないというところと、白い砂浜が無いところでした。島に住みたいと思ったのは、海が好きなのと、魚に触る仕事があったからです。なぜか

東さんのプロフィール

1987年に兵庫県で生まれる。

和歌山県で育ち、北海道の大学へ。卒業後は三重県で漁連に就職をして三重県で働き、東京へ異動した後2年で三宅島漁業協同組合に就職をした。

趣味は魚、釣り、そしてお酒を飲むことだという。

体重が4キロ減って

島に住むにあたって、人付き合いの難しさや、噴火の可能性について反対されることもありましたが、島民は面倒見のいい人が多くて、畑で作っている野菜や果物を頂いたり、漁師の方からは魚を貰ったりするので、魚は島に来てから買ったことはほぼありません。東京で暮らしていたときはお金が減っていく一方で、島に来てからは特に意識しなくてもお金が貯まっています。いつでも好きな物を食べ

ることができるとコンビニやファーストフード店が無いことと、肉体労働をするようになったことで、体重が4キロ減りました。仕事をするようになって6年間、増えることはあっても減ることはなかったことを考えると驚くべきことです。

東京にいたときと比べて圧倒的に空を見ることが増えました。遮るものが少ないので意識しなくても夕日が沈むところや星がはっきり見られるのは島ならではの感じます。仕事に行く前や仕事が終わった後の少しの時間で釣りをしたり、海に浸かったりといった生活ができるのも魅力です。

島の良さを伝えたい

三宅島漁協では漁業者の新規就労の為、長期研

修を終えた後、独立する制度で現在3名の研修生がいます。

第一次産業は高齢化と後継者不足が深刻で、漁獲量の減少も否めない状態ですが、研修制度によって浜にいる若者が少しずつ増えていることで、以前よりも浜が賑やかになってきています。村も、島のPRのために島暮らし体験や婚活イベント等をおこなってくれています。そういった活動を通じて島に興味を持つ人の千人に一人くらいが定住してくれば徐々に盛り上がっていくはず

です。私にできることは三宅島を知らなかった自分が、三宅島を知らない知り合いに島の良さを教えられるように、島の良いところをもっと知ることなのかなと思います。季節ごとにお薦めできる島のいいところがあれば是非教えて下さい。最後に、私はほぼ毎日漁協の冷蔵庫にいますので、見かけた際はよろしくお願いします。

併合科<農業科・家政科> 22名

<私立大学>

東京家政学院大学

現代生活学部 生活デザイン学科

<短期大学>

女子美術大学 短期大学部

美術コース

文化学園大学 短期大学部

ファッションビジネスコース

<専門学校>

江戸川大学総合福祉専門学校

こども福祉学科

大宮こども専門学校

こども総合学科 こどもお菓子コース

田中千代ファッションカレッジ

ファッションテクニカル学科

長生学園

あん摩・マッサージ・指圧師

東京保育専門学校

保育科

東京都立多摩職業能力開発センター

建築設備(2名)

二葉栄養専門学校

調理師科

読売自動車大学校

自動車整備学科

<大学校>

千葉県立農業大学校

<就職>

エム・シー・オイル株式会社

株式会社 ウラタ

株式会社 品川ナックス

株式会社 白興 三郷工場

東京電力株式会社

ピッツェリア・チャオ

メディアランド・ウイング株式会社

有限会社 勝栄 中村農場

三宅高校併合科卒業生の進路(同校HPより)

ご寄付者名

吉田信行様、光安千久子様、
吉野文雄様、岩淵志寿様、大
内一安様、佐藤就之様、板倉
美紀子様(平成29年6月9
日~9月2日)

皆さまのご協力に深く感謝
申し上げます。

【ご寄付受付先】

郵便振替口座

口座番号; 00120-3-545036

口座名称; 三宅島ふるさと

再生ネットワーク

のです。
やはり長く行政経験を
積んだ教訓は、貴重で議
論し具体化する価値があ
ります。
皆さまのご意見ご協力
を、切にご期待申し上げ
ます。
深刻なのはやはり人口減
課題は、村民の共通認
識である深刻な過疎・高
齢化・人口減と長期全島
避難後の労働力不足と確
保です。
ハード面の災害復旧は
多岐にわたり、高額の災
害復旧費が国・都から出
ました。今後は、被災者
である三宅村民の、三宅
島に即した生活と産業等
の大胆な創意と工夫、そ
して持続的な復興・再生
への努力が求められてい

高校生が働く場を

上京し進学でも大学院

ます。
提言の第一に挙げられ
ているのは、「大規模施
設団地の建設」です。今
回は、「三宅高校農業科
の生徒に対し在学中に無
償貸付(農地)を行い実
習の場として活用しつづ
卒業後は速やかに現金収
入が得られる制度を構築
する」に注目し、三宅高
を訪問しました。
併合科(農業科・家庭
科)の「過去4年間の卒
業生の進路先一覧(平成
23年度~26年度卒業生)」
(三宅高校HPより)を
見ると、東電が転勤で三
宅に来る場合を除き、上
京して進学と少数の就職
となっています。

編集後記

島外から定住する若者
が徐々に増え、島に活気
が出てきているのは明る
いニュースです。
一方で、島の若者たち
が島から離れて行つてし
まっている現状もあり、
働く場などの提供が大切
であると感じます。
三宅島は、若者にとつ
ても魅力的な場所だと思
います。私たちも新報を
通じ若者が少しでも増え
るようお手伝いをしてい
きます。(DTPA一同)

島の明るい未来のために

佐久間氏提言の実現を

前号で三宅支庁などで要職を務めた佐久間敏明氏からいただいた島の今後への提言。その中で、若者が島を離れてしまう現状を止めるため、三宅高校で農業を学んだ高校生が仕事をする場を提供することなどは、本気で実現に向けた努力をすべきことだと思われる。

多くの人の議論で
前号の佐久間敏明氏の「島の課題と今後の提言」(三宅島新報7月1日第66号2~3面)は、如何でしたか。
昭和35年から東京都行政マンとして一筋、しか

も阿古地区で3回も被災された経験を通じての提言は、私達の期待を裏切らないものでした。大学生・高校生、学者やマスコミの調査、研究、取材依頼を受けて佐久間氏を紹介すると、皆がその話に感心して感謝されたも